

**災害図上訓練 DIG (ディグ) を行う** ※「P.4 まちあるき」と併せて実施するとより効果的です。

実施に向けて	災害図上訓練とは、地域で起こりうる災害を想定し、危険が予測される箇所や事態を地図上に書きこんでいくものです。地図上で災害危険箇所を把握することで、避難・備え・連絡体制などを考えることができ、自主防災活動の進め方を考えるきっかけとなります。
必要なもの	●地域の地図 ●地域の災害危険箇所図 ●透明シート ●マーカー など
対象者	●自主防災組織の役員 ●地域住民
お問い合わせ	●詳しい手法：「チャレンジ！防災48」 <a href="http://open.fdma.go.jp/e-college/bosai/">http://open.fdma.go.jp/e-college/bosai/</a> ●指導者紹介：広島県自主防災アドバイザー制度（消防保安課：082-513-2790） ●想定災害：各種ハザードマップ（詳しくは地域の自治体にお問い合わせください）

**STEP 1 地域で起こりうる災害を想定します**

図上訓練で想定する災害がどのようなものか、説明を行います。想定する災害は、地域住民の関心の高いものが効果的です。



**STEP 2 地域の状況を確認します**

道路、川、公園、公共施設、避難所など、まちをつくっている基礎情報を書き込みます。また、スーパーやコンビニ、病院、ガソリンスタンドなど、民間施設も書き込んでおきましょう。

**STEP 3 災害情報を書き込みます**

決めておいた想定災害を参考に、災害による危険箇所を地図へ書き込みます。例）土砂災害危険箇所 など



**STEP 4 書き込んだ地図を基に話し合いを行います**

Step 3までの内容を書き込んだ地図を基に、災害時に役立つ施設、避難場所、避難経路などについて話し合います。

**STEP 5 参加者全員で情報を共有します**

話し合った内容を発表し合い、みんなで情報を共有しましょう。

**活動のポイント**

- 道具を全て揃える必要はありません。地図とペンを用意し、まずは実施することが大切です。
- 中山間地・市街地のどちらにおいても、地域で起こりうる災害を想定することが大切です。
- 参加者全員が内容を理解することができるよう、丁寧に進めていきましょう。
- まとめの発表では、他グループの意見により、新たな気づきを発見できる場合があります。発表後にもう一度グループで話し合いを行いましょう。

**災害図上訓練の活動事例**

実施地域	三原市 中之町下町内会防災会
実施日	平成 25 年 7 月 25 日
参加者	自主防災会役員・地域住民・住民団体 計 40 名
準備品	個人配布：●地区の地図 ●透明シート ●丸シール ●付箋紙 ●セロテープ 班別配布：●プログラム ●筆記具

**実施内容**

時間	実施項目	状況写真
19:10~19:25 (15分)	想定災害の基礎知識講座	
19:25~19:30 (5分)	災害図上訓練の手順説明	
19:30~20:25 (55分)	災害図上訓練の実施 ・ 自宅・公共施設など地域情報の確認 ・ 避難所・避難経路の確認 ・ 災害危険箇所の確認 ・ 避難所・避難経路の安全性確認 ・ 地域で気になる箇所、過去に起きた災害箇所の確認	
20:25~20:45 (20分)	とりまとめ・発表 ・ 図上訓練で挙げられた情報の整理 ・ 各班の結果を発表し、情報を共有する	

**参加者の感想**

- ・ 地域でどこが危ないのかを把握することができた。
- ・ 通学路上の危険箇所を確認することができた。
- ・ 作成した地図を基に、安全な避難ルートを考えていきたい。



**【活動で困ること】**

- ① 実施時間が限られていたため、十分な話し合いができなかった。
- ② DIG の結果をどのように活用してよいか分からない。

**【改善案】**

- ① 全ての STEP を一度に実施する必要はありません。活動内容や時間に合わせて、一つずつ実施していきましょう。
- ② 出来上がった地図を基に、避難所や避難経路の見直しを行ってみましょう。また、話し合いで挙げられた意見を防災マップに反映し、地域へ発信することも効果的です。